

令和7年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

クラス名	花組（3歳児）
施設名	蒲田音楽学園保育園
施設所在地	東京都大田区西蒲田四丁目27番2号
法人名	社会福祉法人扶社会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然・身近な物

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

園庭が小さな砂場のスペースしかないため、散歩へ行く機会が多い。近くに遊歩道や公園、線路があることから散歩に行く時間を活かし、「自然」「身近にあるもの」をテーマにして探究する。散歩中に気になる植物や昆虫、電車等をタブレット端末に写真を撮って、園に戻ってきた後に写真に撮った植物や昆虫の名前、特徴等について調べ、探究していく。

2. 活動スケジュール

令和8年1月～3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
タブレット端末(iPhone・iPad)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

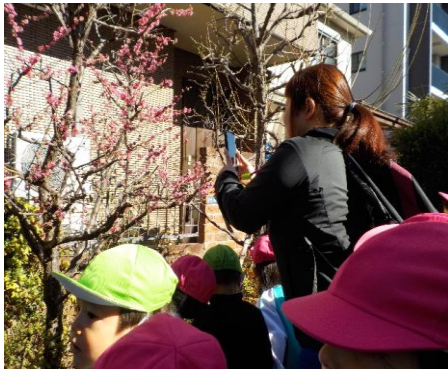
・1月29日(木)

遊歩道や公園内での自然物の探索・発見をし、iPhoneで写真を撮影。その後、iPadを活用し自然物をみんなで調べる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

- ・自然物に目を向け、写真を撮ることで様々な視点から新たな植物を探して「ここにお花が咲いてる」「こっちにも!」と保育士に積極的に声を掛けていた。
- ・形が同じなのに色が異なる花を発見し、iPadで調べた際にその違いや共通点を楽しんでいた。
- ・水仙を発見し、調べてみると春の訪れを知らせる花であること、毒があるため注意しなければならないことを知り、深く関心を見せていたことや友達とその話題を共有し、会話を楽しんでいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

活動の内容を理解し、いつもと違った視点で自然探しを楽しみ、自分たちで探索して発見した自然物の内容に非常に興味を見せていた。また、同じ植物や花でも調べると色や形が異なることを発見し、関心を見せていた。iPhoneとiPadがある事ですぐに調べられ新たな発見が出来た。今後も活用していきたいと感じた。

令和7年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

クラス名	花組（3歳児）
施設名	蒲田音楽学園保育園
施設所在地	東京都大田区西蒲田四丁目27番2号
法人名	社会福祉法人扶社会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然・身近な物

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

園庭が小さな砂場のスペースしかないため、散歩へ行く機会が多い。近くに遊歩道や公園、線路があることから散歩に行く時間を活かし、「自然」「身近にあるもの」をテーマにして探究する。散歩中に気になる植物や昆虫、電車等をタブレット端末に写真を撮って、園に戻ってきた後に写真に撮った植物や昆虫の名前、特徴等について調べ、探究していく。

2. 活動スケジュール

令和8年1月～3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

タブレット端末(iPhone・iPad)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・2月24日(火)

遊歩道や公園内での身近な物の探索・発見をし、iPhoneで写真を撮影。その後、園のiPadを活用して何に使われる物かみんなど調べる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・以前、保育士に教わったことを思い出しながら高い所や足元を気にしながら自分の気になるものを探していた。
- ・室外機を見て「扇風機じゃない？」と自分なりに予想をしながら保育士や友達との会話を楽しんでいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回は身近な物をテーマに探索を行った。前回行った流れを振り返り、今回のテーマに沿って周囲の物に注目することが出来ていた。調べてみると自然物とは違って自分の家で使っているものと繋がる内容も多くあり、興味や関心を見せていた。季節で変わるものだけでなく、身の周りにあるものに注目し、調べて知る機会を今後も設けながら新たなテーマを見つけていきたい。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

クラス名	花組（3歳児）
施設名	蒲田音楽学園保育園
施設所在地	東京都大田区西蒲田四丁目27番2号
法人名	社会福祉法人扶社会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然・身近な物

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

園庭が小さな砂場のスペースしかないため、散歩へ行く機会が多い。近くに遊歩道や公園、線路があることから散歩に行く時間を活かし、「自然」「身近にあるもの」をテーマにして探究する。散歩中に気になる植物や昆虫、電車等をタブレット端末に写真を撮って、園に戻ってきた後に写真に撮った植物や昆虫の名前、特徴等について調べ、探究していく。

2. 活動スケジュール

令和8年1月～3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

タブレット端末(iPhone・iPad)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・3月23日(月)

雨上がりの遊歩道や公園内での自然物の探索・発見をし、写真を撮影。その後、園の携帯を活用して写真を撮って疑問点をみんんで調べる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・雨で濡れている地面と濡れていない地面を見て「なんでここここは色が違うの」と疑問を口にしていた。
- ・雨で湿っている砂を触り、サラサラしていない事に気づき、保育士に伝えていた。
- ・地面や砂など視点を低くしたことで今まで見えていなかった自然物を発見していた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回は雨が降った直後の自然物を見に戸外へ出かけた。いつもと異なる光景に寂しい雰囲気を感じる様子が見られ、晴れと雨の雰囲気の違いを感じていた。また、雨が降ったことにより、濡れたアスファルトや車の様子の違いに気が付き、「何でだろうね」とやり取りを楽しむ姿や自分なりに考えを伝える姿が見られた。保育士が働き掛けることで視点や考えが変わる様子に私自身も発見が多くあった。今後も天候の違いで多くの発見が出来るよう戸外での活動を計画していきたい。